

一般社団法人日本人間工学会第 69 回理事会 議事録

1. 開催日: 2024 年 3 月 6 日 (水) 18:00~19:57

2. 開催場所: Zoom による遠隔会議

3. 出席理事: <敬称略>

・理事会構成員(27 名・定足数 14 名以上)

(理事): 鳥居塚崇(理事長), 中西美和(副理事長), 青木洋貴(学術), 青木宏文(広報), 石橋圭太(若手支援), 榎原毅(編集・国際・国際誌・将来構想), 笠松慶子(財務), 狩川大輔(安全), 久保博子(学術), 鴻巣努(表彰), 境薫(若手支援), 佃五月(企業活動), 中川千鶴(総務), 能登裕子(学術), 松田文子(広報・選管), 持丸正明(将来構想), 横井元治(総務), 横山詔常(企業活動)
[18 名]

(理事兼支部長): 高橋信(東北), 斎藤真(東海), 石原茂和(中国・四国)

[3 名]

[計: 21 名]

(欠席者): 河合隆史(財務), 神田幸治(若手支援), 小谷賢太郎(関西・国際), 小林大二(北海道・第 65 回大会), 三林洋介(関東), 庄司卓郎(九州・沖縄)

・オブザーバー: 佐藤洋 (JENC), ハ木佳子(認定機構)

(欠席オブザーバー) 井出有紀子(認定機構), 下村義弘(第 64 回大会), 吉武良治 (表彰・役員推薦)

・監事: 赤松幹之, 大須賀美恵子

・事務局: 西原彩, 米倉裕美

※全員ネット会議出席者

4. 議事概要

定足数 14 名を超える 21 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後, 定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

【審議事項】

(1) 第 1 号議案 2024 年定時社員総会における各種表彰受賞者について(表彰委員会)

・トップ 10% 査読者賞, 標準化貢献賞

鴻巣副表彰委員長より, トップ 10% 査読者賞 3 名, 標準化貢献賞 3 名の推薦があり, 承認された。

(2) 第 2 号議案 準専門家とプラクティショナー 規程の改訂について(認定機構)

ハ木機構長より, 前回までの理事会で承認された資格制度の改訂内容について反映した規程改定案の説明があり, 審議の上承認された。

主な変更箇所は, 認定人間工学アシスタントは認定人間工学プラクティショナーに名称変更し, より実践的な資格に変更し, 更新時にはポイントの提出を必要とすること。認定人間工学準専門家は応募要件から教育歴をなくし, 更新時にはポイントの提出を必要とすること。どちらの資格も, 人間工学に関する専門教育は, 人間工学の原理・人間の特性・人間の特性の測定・評価のいずれかを含むことが必要。

現在, 認定人間工学アシスタント資格を持っている方は希望すれば, 認定人間工学プラクティショナー

に移行できるようにする。

(3) 第 3 号議案 投稿規程(掲載料)の改定について(編集)

榎原編集委員長より、現行の掲載料金について、原著論文以外のリサーチ・イシューや技術報告等の規程ページは4~6ページのため、掲載料が高くなっているのを改善したいと説明があり、掲載料金を規程ページ数ではなく、ページ数(8ページまでと9ページから)で算出するように投稿規程を改訂したいと提案があり、審議の上、承認された。今後は図版料の別途請求はしない。また Tex 形式は受け付けていないため、記載を削除する。

すべての論文カテゴリ別の目安枚数を原著論文と同じ8ページにする案もあったが、短報やリサーチ・イシューも8枚にすると、投稿のハードルが上がってしまうという懸念があるため、目安枚数は今後もカテゴリ別で異なる枚数とする旨、説明があった。

投稿規程は2024年4月1日付で改訂し、新掲載料金については4月1日以降に投稿した論文より適用する。

(4) 第 4 号議案 全国大会への賛助会員の参加および発表について(総務)

横井総務担当理事より、賛助会員の全国大会参加に関する特典の内容が流動的であるので、3名まで参加費無料に加えて、発表も可能という原則ルールにしたい旨提案があり、審議の上、承認された。各大会長が都度判断するのではなく、今後は賛助会員特典として明記して運用する。発表件数に制限は設けない。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 第68回理事会議事録について報告。

(1-2) 会勢報告

2024年2月末現在、会員数1,263名(+28名)、賛助会員22社23口との報告があった。

(1-3) メールによる審議の結果1件について報告。

(1-4) 学会誌 学会だより箇所を活用して賛助会員一覧を掲載する件について

次号4月号より、賛助会員一覧を掲載する旨説明した。

(1-5) 協賛等の依頼12件について報告。

(2) 財務報告 1 月度収支計算書

笠松財務理事より、1月度収支計算書について、講演会収入が今回初めてあったこと、年度末なので研究部会活動費等がこれから増える見込みと説明があった。講演会収入が予算よりだいぶ少ないことについて質問があり、鳥居塚理事長より今期は体制が整わなかった反省があり、次期は改善したい旨説明があった。

(3) 第 65 回大会(2024年6月22~23日)準備状況報告

事務局より、小林大会長からのご案内(OS提案の締切とホテル予約)について説明があった。

(4) 担当・委員会報告

(4-1) 広報委員会

青木委員長より、2023 年は人間工学グッドプラクティスデータベースの登録数が 5 件だったこと、HP がんばる人間工学家の掲載を年度内に進める旨、報告があった。

(4-2) 編集委員会

榎原委員長より、学会誌の編集・発行状況や年間投稿件数について報告があった。60 周年記念企画の「理事の考えるリサーチ・イシュー」が次号より掲載予定。第 65 回大会での企画セッション開催予定と、査読委員募集中の旨案内があった。

(4-3) 国際協力委員会

鳥居塚委員より、8 月 25~29 日に JEJU で開催される IEA2024 の発表申込が 3 月中旬まで延長された旨報告があった。

(4-4) ISO/TC159 国内対策委員会

佐藤委員長より、サービス人間工学の標準化についての提案の報告書を提出した等、活動報告があった。

(4-5) 表彰委員会

鴻巣副委員長より、論文賞・GP 賞・功労賞について次回理事会での審議準備を進めている旨、説明があった。

(4-6) 安全人間工学委員会

狩川委員長より、3 月 23 日(土)PM2:00~5:00 の予定で、「Learning from All Operations (全てのオペレーションからの学習)の実現に向けて」をテーマに東北支部と共催で研究会をハイブリッド形式で開催予定と報告があった。6 月 26 日(水)~28 日(金)に開催予定の安全工学シンポジウム 2024 に、人間工学会からの提案 OS として「レジリエンスーその考え方を安全に活かすには?」を企画・準備中。

(4-7) 学術担当

今回はなし。鳥居塚理事長より人間工学ハンドブックを出版できないか出版社より打診があり、理事の皆様にご協力をお願いしたいと説明があった。

(4-8) 人間工学専門家認定機構

八木機構長より、2023 年度の認定試験等の報告と、4 月 19 日に講演会と総会を開催する準備を進めている旨報告があった。

(4-9) 若手支援委員会

石橋委員長より、前回理事会で承認された減免制度の規程案を次回理事会で審議予定と説明があった。

(4-10) 企業活動推進委員会

佃委員長より、第 65 回大会で企画セッション(パネル展示)を開催予定の旨、説明があった。

(4-11) 国際誌検討委員会

榎原委員長より、英語の投稿が増えているので引き続き検討予定と説明があった。

(4-12) 子どもの ICT 活用委員会

今回はなし。

(4-13) 将来構想・普及委員会

持丸委員長より、2 月 28 日に IEA の Webinar にてテーマ「Future of Work: Perspectives from Japan」で講演を行った旨報告があった。講演者は持丸委員長と八木佳子氏。IEA2024 に参加を検討中で、第 65 回大会でも企画セッションを計画している。

(4-14) PSE 委員会

鳥居塚委員長より、研究会を続けていて IEA でセッションを開催予定の旨報告があった。

(4-15) 第9期選挙管理委員会

松田委員長より、役員選挙を実施し第9期役員が確定した旨報告があった。今回より圧着はがきからメールでの連絡に変更したことで費用が半額以下に抑えられた。

(4-16) 役員候補者推薦委員会

今回はなし。

(5) 支部報告

(5-1) 北海道支部

今回はなし。

(5-2) 東北支部

高橋支部長より、3月23日に東北大学にて支部研究会を開催する準備を進めている旨報告があった。

(5-3) 関東支部

鳥居塚理事長より、3月に見学会を開催する旨報告があった。

(5-4) 東海支部

斎藤支部長より、次期支部長は横山清子先生が選出された旨報告があった。

(5-5) 関西支部

今回はなし。

(5-6) 中国・四国支部

石原支部長より、次期支部長は石原恵子先生に決定し、引継ぎを進めている旨報告があった。3月末に支部理事会を開催する。

(5-7) 九州・沖縄支部

今回はなし。

(6) その他

6-1. 2024年定時社員総会資料作成に向けて【ご協力お願い】

横井総務理事より、必要な書類を4月の期日までに提出するように協力依頼があった。

6-2. 今後の理事会日程について

今後の理事会日程について案内があった。

(7) 閉会

以上の議事を終え、19時57分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

2024年3月6日

代表理事

鳥居塚 崇^印

監事

赤松 幹之^印

監事

大須賀美恵子^印